GOT, GPT, LDH について

（麻酔科）○佐藤　啓子・川真田美和子・
山村　佳江・藤田　昌雄
（耳鼻咽喉科）
金江ひろみ・角田　　文・畑中江一子

全身麻酔後，血清クレアチンキナーゼ（CK）値の一過性上昇，あるいは GOT. GPT. LDH 値の上昇が肝機能障害として捉えられることがある．これらの変動の原因として手術の種類，部位，出血量，輸血，麻酔薬その他の投与薬物など，種々の因子が考えられる．そこで全身麻酔薬そのものの血清酵素に及ぼす影響を知るため，できるだけ同一疾患を選び，CK を中心に測定，検討した．対象としては，年齢4～13歳，ASA 分類で Risk 1 の扁桃腺摘出術，アデノイド切除術施行患者を選んだ．使用麻酔薬および筋弛緩薬により次の4群に分けた．すなわち，（1）笑気，ハロセン（GOF）＋サクシニルコリン（Sch）の併用群（31例）．（2）GOF 群（25例）．（3）GO＋静脈麻酔薬＋Sch 群（2例）．（4）GO＋静脈麻酔薬＋非脱分極性筋弛緩薬（23例）である．

まず CK 値の変動についてみると，（1）群では術後上昇しているものがほとんどであり，20～30倍以上の著しい上昇をみたものもある．最高値は，術後1日目の 8,050mU/ml であつた．（2）群では術後上昇しているものもあるが，その程度は中等度であり，最高は術後1日目の1,755mU/ml であつた．（3）群でもいくらかの変動がみられた．（4）群では，大きな変動がみられなかつた．次に GOT については（1）群についてのみ CK と同様の変動を示しており，（2），（3）（4）群では大きな変動がみられなかつた．GPT, LDH についても（1）群にのみわずかな上昇傾向が認められた．これらの結果をまとめると，血清酵素の変動の大きい群はハロセンと Sch 併用の（1）群であり，ハロセン麻酔のみの（2）群と，静脈麻酔薬＋Sch 使用の（3）群では中等度の変動にとどまり，静脈麻酔薬のみの（4）群では著明な変動がみられていない．ハロセンと Sch の併用時に CK, GOT, GPT, LDH などの血清酵素が一過性に上昇すること，特に CK の上昇が著しいことは他にも報告されている．今回の結果でも同様の傾向がみられた．この理由は未だ明らかではないが，ハロセンとサクシニルコリンの相互作用が考えられている．

14．β-blocken の HDL-コレステロールに及ぼす影響について

（成人医学センター）　○中井　呈子・赤松　順子・
山口いづみ・谷口　晶子・堀江　俊伸・渋谷　　実

最近，薬剤の HDL-コレステロールに及ぼす影響についての研究が諸外国で報告されている．特に高血圧治療薬と HDL-コレステロールの関係が注目され，thiazide ならびに β-blocken の単独あるいは併用療法により HDL-コレステロール値が低下を示すといわれている．

今回，われわれは，成人医学センター外来受診中の患者で，高血圧，不整脈などの診断で β-blocker（カルビスケン・インデラール）を単独投与している症例について血清脂質の変動，主に HDL-コレステロール（以下 α-コレステロール）について検討したのでここに報告する．

対象は，28歳から70歳までの男性20名（平均年齢49歳），31歳から74歳までの女性25名（平均年齢51.6歳）で，カルビスケン（10～15mg/日）あるいはインデラール（30～60mg/日）を経口投与し，投与前および投与後16週の α-コレステロールの変動をみた．α-コレステロールの測定は，ヘパリン-マンガン・酵素法で行なつた．

男性においては，β-blocker 投与により α-コレステロール値は50.2±11.4mg/dl から49.4±10.9mg/dl へ低下傾向を示したが有意差は認められなかった．女性においても63.4±15.4mg/dl から60.9±13.2mg/dl と有意な低下はみられなかつた．なお総コレステロール値とトリグリセライド値についても同様に検索を行なつたが，有意な変動は認められなかつた．

15．Prostaglandin I_2（Prostacyclin）の母体循環動態に及ぼす効果について

（産婦人科）
○河西　　洋・村山啓三郎・大内　広子

最近，血流調節ホルモンとして PG I_2（Prostacyclin）が注目されているが，その作用についてはまだ不明な点が多い．そこで雑種成犬を用い，PG I_2 の母体循環動態へ及ぼす効果について検討を行なつた．

実験方法：非妊娠犬5頭，妊娠犬8頭に対し，チオペンタールナトリウムの静脈麻酔の上，カテーテル，電磁流量計プローブを装着，0.025～0.1μg/kg の PG I_2 を大腿静脈より投与した．PG I_2 投与前後の平均動脈圧（収縮期血圧，拡張期血圧），心拍数，心拍出量，子宮動脈血流量，腎動脈血流量，子宮内圧，心電図上の変化をポリグラフに同時記録した．

結果：平均動脈圧の減少，心拍数の軽度増加，心拍出量の増加，腎動脈血流量の増加がみられ，その反応は妊